

## 令和3年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録

日 時 : 令和3年 2月 24日 (水)

10時00分～11時30分

場 所 : 帯広市役所10階 第6会議室

事務局

定刻となりましたので、ただいまより第1回帯広市公営企業経営審議会を開催いたします。はじめに中野管理者よりご挨拶申し上げます。

管理者

皆さんおはようございます。

本日はお忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございます。

ちょうど1年前の今頃、私はまだ学校教育関係の部署におり、その時に北海道の独自宣言、それから間もなく緊急事態宣言が出されたわけですが、高校入試や卒業式の時期にぶつかり、大変その対応に苦慮したことを思い出します。あれから早いもので間もなく1年が経とうとしており、ようやく日本でもワクチンの接種が医療従事者から始まったわけですが、まだこれが行き渡るのにどれくらいかかるのかといった情勢ではありますが、早くも来年度予算について皆さんにご審議いただく時期になりました。

昨年は委員の皆さまから答申をいただき、12年ぶりに新たな料金体系について12月定例会に提案し、条例改正の議決をいただくことができました。また、新料金につきましては、現在の経済情勢に鑑みて可能な限り早期に利用者の皆さんの負担軽減を図るために、適用の開始を前倒しいたしまして今年1月検針分から水道料金の引き下げを行うということになったわけでございます。

委員の皆さまにはお忙しい中幾度もお集りいただきまして、また、熱心にご意見をいただきましたことをこの場をおかりして改めてお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いまして、新たな生活様式、新北海道スタイルの実践ですとか、東京、札幌圏との往来の自粛など市民生活や地域経済に大きな影響が生じております。

帯広市の上下水道事業におきましても、業務用において使用水量の減少などに影響が出ておりますほか、支払猶予などの相談対応なども引き続き行っているところでございます。

また、東日本大震災から10年が経つわけでございますけれども、先日は東北地方で震度6を観測する大きな地震がありました。十勝帯広でも十勝沖の千島海溝を震源とする大規模な地震の発生が予測されております。こうした状況下ではありますけれども、私たちは毎日の安全な生活を支えるために、水道下水道事業において、健全で安定的な事業経営を維持するとともに、防災、また減災対策も講じていかななくてはならないと考えております。本日の議題でもあります令和3年度予算におきましては、

引き続き老朽施設の更新ですとか耐震化を進めるほか、将来的な水需要の減少に備えまして下水道の汚水処理施設の統合や川西地区における企業団からの受水への切り替えに着手するなど施設の再編化を進めてまいります。

また、事業運営の面におきましても、民間活力の活用など経営の効率化に向けた調査連携を進めて参りたいと考えております。料金改定の審議の際にもご説明させていただきましたが、人口減少時代を迎えまして、上下水道事業を取り巻く経営環境も大変大きく変わってきております。委員の皆様には今後における上下水道事業の在り方、こういったことも含めまして忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開催のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして耕野会長からご挨拶お願いいたします。

会長 本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

去年、この経営審議会でも数回に渡って水道料金の改定について議論いたしまして、その内容を踏まえて今年 1 月から、今説明ありましたように水道料金が値下げされて、新しい水道料金がスタートしております。

ここで議論されたことが、実際に取りまとめられて我々の生活に反映されている、という意味でこの審議会の存在意義は大きいのかなと考えているところです。さて、今日ですが、令和 3 年第 1 回の経営審議会です。議題については令和 2 年度の決算の見込みと令和 3 年度の予算概要、そして、下水処理施設の方向性などについてです。時間も限られておりますけれども、いろいろな視点からご意見などいただきまして、我々の生活、また今後の公営企業の運営に活かしていければと考えております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 帯広市公営企業経営審議会規程第 3 条第 2 項の規定に基づき、委員 15 名のうち、現在出席 11 名で過半数に達しておりますので、本日の審議会は成立いたします。

当審議会規定に基づき、耕野会長に議事進行をお願いいたします。

会長 それでは本日の議題に入りたいと思います。議題（1）「令和 2 年度 水道・下水道事業会計決算見込について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 1、「令和 2 年度 水道・下水道事業会計決算見込」についてご説明いたします。

上下水道は市民生活や経済活動などに必要不可欠なライフラインではありますが、昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大による上下水道事業の経営への影響や、水道料金や下水道使用料への影響について、令和 2 年度の予算と決算見込との比較をご説

明させていただくものであります。

まず、資料の左上、水道料金の予算と、その下、決算見込みのグラフをご覧ください。水道料金のうち、「青」が一般家庭で使用されている家事用の水量とその料金収入、「ピンク」は事業者が使用している業務用の水量とその料金収入を示しています。比較しますと、決算見込みでは、家事用の使用水量は48万7,000 $\text{m}^3$ 、料金収入は1億1,600万円増加していますが、業務用の使用水量は22万7,000 $\text{m}^3$ 、料金収入は6,700万円減少しています。この理由として、給水人口は減少しているものの世帯数の増加により家事用の使用水量や料金収入が増加しているほか、コロナの影響により、移動の制限や市民が外出を控え自宅に滞在する時間が増えたことなどに伴い家事用の使用水量が増加した一方で、事業活動に伴う業務用の使用水量が減少したためと考えられます。また全体では、予算よりも使用水量は25万9,000 $\text{m}^3$ 、料金収入は4,800万円増加する見込みとなっています。

次に、水道事業会計の収支状況について、資料左下をご覧ください。予算額は、水道料金改定等を反映した12月補正後の額としています。水道の維持管理に関する収支のうち収益は、料金収入が4,800万円増加しますが、負担金の減少などにより決算見込みは300万円の増、費用は職員給与費の減少などにより1億1,500万円減少しますことから、純利益は予算より1億1,800万円増加する見込みです。水道の建設投資に関する収支のうち資本的収入では、企業債借入の減少などにより2億2,300万円の減、資本的支出では工事の入札減などにより1億3,100万円の減となり、資本的収支不足額は9,200万円の増と見込んでいます。以上の結果、令和2年度末の累積資金残高の決算見込みは、予算と比較しますと1,000万円の増となり、水道事業は安定経営が維持されるものと捉えています。引き続きコロナの影響に伴う水需要の動向等を注視していく必要があると考えております。

次に、資料の右上、下水道使用料について、予算と決算見込みのグラフをご覧ください。水道と同様に、「青」が一般家庭から排出される家事用の水量とその使用料収入、「ピンク」は事業者から排出される業務用の水量とその使用料収入を示しています。比較しますと、決算見込みでは、家事用の水量は42万9,000 $\text{m}^3$ 、使用料収入は5,700万円増加している一方で、業務用の水量は24万4,000 $\text{m}^3$ 、使用料収入は6,000万円減少しています。この理由は、水道と同様にコロナの影響において、水道の使用水量に比例し、家事用は増加し業務用は減少していると考えております。

また全体では、予算よりも水量は11万1,000 $\text{m}^3$ 増加しますが、使用料収入は、従量料金単価の高い大口使用者の使用水量の減少などに伴い、500万円減少する見込みとなっています。

次に下水道事業会計の収支状況について、資料右下をご覧ください。予算額は、昨年実施した上下水道料金体系の検証に伴い収入見込み等を反映した12月補正後の額としています。下水道の維持管理に関する収支のうち収益は、使用料収入の減少のほ

か負担金や補助金の減少などにより決算見込みは5,900万円の減、費用は職員給与費の減少などにより7,700万円減少しますことから、純利益は予算より1,800万円増加する見込みです。下水道の建設投資に関する収支のうち資本的収入は、企業債借入や国からの補助金の減少などにより8,500万円の減、資本的支出は、工事の入札減や補助金減少に伴う工事の縮小などにより1億6,200万円の減となり、資本的収支不足額は7,700万円の減少と見込んでいます。その結果、令和2年度末の累積資金残高の決算見込みは、予算と比較しますと8,800万円の増加と見込んでおり、水道事業と同様に下水道事業においても安定経営が維持されるものと捉えています。引き続き、業務用である大口使用者の使用水量等を注視していく必要があると考えております。

説明は以上です。

会長 ただいま説明いただきました内容につきまして、委員の皆さまからご質問をお受けいたします。

委員一同 ありません。

会長 続きまして、議題（2）「令和3年度予算案の概要について」事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、資料2、「令和3年度水道・下水道事業会計予算案」について、ご説明いたします。

上下水道事業会計の歳出予算規模につきましては、資料上段中央にありますように、147億2,700万円となり、前年予算との対比では、水道事業で配水管整備事業費や稲田浄水場設備機器更新工事などの事業費の増加、簡易水道事業では川西地区の水源を十勝中部広域水道企業団からの受水に変更するため、送水管の整備事業が始まることなどにより、1.8%の増と見込んでおります。

資料の左側、水道事業会計についてご説明させていただきます。左側に計数を整理した表を記載しておりまして、右側にグラフなどを表示しておりますが、グラフの方で説明させていただきます。

収益的収支の収入についてであります。水道事業は、約42億8,700万円となっており、前年度対比、約2億3,900万円の減となっております。内訳といたしましては、水道料金の改定などにより給水収益が約2億2,600万円の減少となっております。簡易水道事業も同様に、水道料金の改定などによる給水収益が1,000万円の減少となっているほか、長期前受金戻入の減少などにより、2億3,700万円、前年度対比で6,500万円の減少となっております。

その下の支出のグラフについてであります。水道事業では、約37億5,300万円と

なっており、前年度対比で約5,300万円の減少となっております。主な内訳としましては、維持管理費などで6,400万円の減のほか、企業債の借入利息が約2,400万円の減となっております。簡易水道事業につきましては、減価償却費などの減少により、約2億7,700万円、前年度対比で7,800万円の減となっております。

続きまして、純利益についてであります。左側の表の中段部分になります。水道事業で3億7,500万円の利益となっておりますが、前年度対比では約2億2,300万円の減となっております。これは先ほど説明した水道料金収入を改定したことによって減少となっております。簡易水道事業では、約4,500万円の純損失となり、前年度対比で1,400万円のプラスとなっております。

続きまして、資本的収支の部分につきまして説明させていただきます。右側のグラフ部分になりますが、収入の部分につきましては水道事業では、建設工事の増加に伴う企業債借入金などの増により、7億8,800万円 前年度対比で1億7,400万円の増となっております。簡易水道事業も同様に、建設工事の増加に伴う企業債借入金などの増加により、2億2,900万円、前年度対比で1億4,200万円の増となっております。

次にその下のグラフ、支出についてですが、水道事業につきましては、29億8,200万円、前年度対比で3億2,900万円の増となっております。主な内訳といたしましては、次の資料3予算の重点の中でも説明させていただきますが、配水管の整備や稲田浄水場の設備機器更新工事の事業費の増加などにより、設備の更新費用など約3億1,900万円の増となっております。簡易水道事業も同様に、川西地区の水源を十勝中部広域水道企業団からの受水に変更するための送水管整備事業や減圧弁室の更新工事などの増加に伴い、2億6,100万円、前年度対比で1億4,500万円の増加となっております。

資料の左下になりますが、年度末の累積資金残高の見込みであります。水道事業については、令和3年度末で約18億5,800万円となる見込みであります。また、簡易水道事業では、約2,000万円となる見込みとなっております。

続きまして、次のページの下水道事業会計について説明させていただきます。こちらも同様に左側に計数、右側にグラフとなっておりますが、右側のグラフ、収益的収支の収入についてであります。下水道事業では、50億7,400万円となっており、前年度対比で1,400万円の減となっております。主な内訳としましては、下水道使用料が約2,400万円の減、その他雨水処理に係る経費の一般会計からの負担金の増などにより、他会計負担金等で約1,900万円の増加となっております。農村下水道事業については、収支不足による一般会計からの補助金などの増加などにより、1億4,200万円、前年度対比で600万円の増加となっております。

その下のグラフ、支出についてですが、下水道事業では、43億6,900万円となっており、前年度対比、6,400万円の減となっております。主な内訳は、減価償却費などで約2,400万円の減、その他企業債の利息で5,800万円の減となっております。農

村下水道事業につきましては、合併処理浄化槽の維持管理費などの増加により約 1 億 3,800 万円、前年度対比で 600 万円の増となっております。

続きまして、純利益についてであります。左側の表の中段部分になります。下水道事業では、約 6 億 6,100 万円の利益となっており、前年度対比では、約 4,500 万円増加となっております。農村下水道事業では、約 700 万円の利益が発生する見込みとなっております。

続きまして、資本的収支のグラフ部分になりますが、収入について、下水道事業では企業債借入金などの減少によりまして、9 億 2,700 万円、前年度対比で 3,800 万円の減少となっております。農村下水道事業につきましては、建設工事の増加に伴う企業債借入金などの増により、6,100 万円、前年度対比で 400 万円の増となる見込みであります。

その下の支出の部分であります。下水道事業では、約 28 億 3,700 万円、前年度対比 3,100 万円の減となっております。主な内訳としましては、帯広川下水終末処理場の設備機器の更新や汚水処理施設の統合に向けた実施設計などで 3,000 万円の増となっているほか、企業債の元金返済が、6,100 万円の減少となっております。農村下水道事業では、清川下水処理場などの設備更新や、企業債元金の増など、約 1 億 800 万円、前年度対比で 300 万円の増となっております。

左側の表、一番下段になりますが、年度末の累積資金残高についてであります。下水道事業では、令和 3 年度末で約 10 億 9,200 万円となる見込みでありまして、農村下水道事業では、ほぼ 0 になる見込みであります。

以上が予算の概要であります。水道・下水道事業会計、ともに、昨年料金改定時に策定しました、上下水道ビジョンの収支計画、これとほぼ同程度の純利益と累積資金残高を確保される見込みとなっております。

資料 2 の説明は以上です。

会長 ただいま説明いただきました内容につきまして、委員の皆さまからご質問をお受けいたします。

委員一同 ありません。

会長 では、次に資料 3 「令和 3 年度上下水道部予算編成における重点」のうち水道事業の主な取り組み内容について説明をお願いします。

事務局 資料 3 「令和 3 年度上下水道部予算編成における重点」、水道事業について説明させていただきます。

(1) 「安全安心な施設の機能保全」につきまして、①稲田浄水場等の機器更新と

いたしまして、稲田浄水場の沈殿池設備等の機器更新、これは写真にもあるとおり、沈殿池に薬品を混入し攪拌するフロキュレーターと原水に含まれる土や砂などの沈殿を早める傾斜板、沈殿した土砂を排出するための掻き寄せ機の更新を令和2年度から2か年継続工事で実施しております。

その他、帯広の西帯広地区の水圧を調整する帯広の森減圧弁室設備更新の実施設計を行うほか、大正地区にございます中島配水場機器更新の実施設計、簡易水道の川西浄水場などの設備更新などを行います。簡易水道事業として②減圧弁室の更新ですが、写真にあります様に老朽化した減圧弁室を4基更新する予定でございます。③川西地区の受水切替ですが、川西浄水場で水を浄水していますが、将来的に十勝中部広域水道企業団からの受水に切り替えるための送水管工事に着手する予定でございます。これに伴いました水道事業の安全安心な施設の機能保全に係る事業費が約512,045千円でございます。

(2) 災害に強い強靱な施設づくりといたしまして、①配水管の整備では、道路工事、下水道工事等により維持管理上支障となる配水管の更新や移設などを行う8次配水管整備事業で工事個所につきましては、畜大の東側、弥生新道の道路などを予定しております。これに伴いまして水道管も154m入れ替えます。また国道38号線の一本南側に大和通がございますが、ここの道路工事も行いますのでここについても337mの更新を予定しております。道路関係では1,900mの配水管の整備を予定しております。また老朽管更新事業としましては管路近代化事業で行っておりますが、西17条南34丁目での工事延長が1,690m。南の森西8丁目の老朽管更新が1,520m。その他の地区と合わせまして老朽管更新7,660m。この配水管更新事業の整備としまして合計で9,560mを工事の予定をしております。

上下水道ビジョンの目標、水道管の耐震適合率の進捗状況は、耐震化適合率として90%に対しまして、令和3年度末で85.1%、前年度比0.7%上昇を予定しており計画通りに耐震化が進んでおります。その他、大空地区の義務教育学校の整備に伴います緊急貯水槽新設の実施設計、③中島地区の配水場の耐震補強工事の実施設計を行います。

④災害対策備蓄資器材の充実といたしまして、水害対策を強化するため、大型水の中の購入、排水用としてのポンプの購入では、今までは水だけを汲み上げるポンプでしたが、砂、砂利などの小さなものも水と一緒に排水する汚泥ポンプの購入を予定しております。

また、稲田浄水場の中にあります旧自家発電機室を、災害用の備蓄庫として整備を行う予定となっております。この持続的な災害に強い強靱な施設づくりの事業費としまして940,364千円を予定しております。

一番下の工事請負費ですが、工事総額で前年度対比44.9%の増額となっております。先ほど部長からも説明がありましたが、主な原因は水道事業では老朽管の更新、

稲田浄水場の更新、簡易水道につきましても川西地区の受水切替のための送水管の工事の増、下水道事業につきましても、帯広川下水終末処理場の自家発電の設備更新などが主な要因で全体として前年度比 44.9%の増となっております。水道事業については以上です。

事務局

それでは、下水道事業の主な取組内容につきましてご説明いたします。お手元の資料 3、「予算編成における重点」の右側をご覧ください。まず、(1)「安全安心な施設の機能保全」についてですが、④の「汚水管の整備」につきましては、国道 38 号線の 1 本南側の大和通で延長 190mの整備のほか調査設計などを予定しております。

また、⑤の「下水道管渠の長寿命化」につきましては、耐用年数 50 年を経過した下水道管のうち、内部の調査により判明いたしました、ひび割れや破損などの不具合がある路線のみの更新を行うものですが、大空町で延長 270mの更新工事のほか調査設計などを予定しております。

⑥の「帯広川下水終末処理場の改修」につきましては、後ほどご報告させていただきますが、現在 2 つの処理場、帯広市管理の帯広川下水終末処理場と北海道管理の十勝川浄化センターで、家庭から流された生活排水などを浄化しているものを、このシステムを将来的に十勝川浄化センターに集約する予定であります。この関連工事といたします実施設計や、停電等に使用します帯広川下水終末処理場の自家発電設備の更新などを行う予定でございます。

⑦、⑧の農村下水道につきましては、清川地区における汚水を処理する清川下水処理場の機器更新を行うほか、合併処理浄化槽、主に農村地区における各家庭の汚水を処理する個別排水処理施設を 18 基整備する予定でございます。

事業費につきましては、これらすべてを合わせまして、6 億 308 万 9 千円となっております。

次に、(2)「災害に強い強靱な施設づくり」についてですが、⑤の雨水管の整備、降った雨水を処理する雨水管ですが、これにつきましては、基本的に浸水シミュレーションの解析結果や過去の浸水実績などを参考に、浸水被害の可能性が高い雨水管未整備地区を優先とした整備方針としております。工事箇所につきましては、帯広高等看護学院南側の西 10～11 条南 40 丁目周辺で延長 220m、平成 28 年の台風で大きな浸水被害があった東 14 条南 3～4 丁目周辺のバラト地区で延長 460mの整備のほか、新工業団地関連工事で延長 195mの整備などを予定しております。

また、上下水道ビジョンの目標値の雨水管整備率につきましては、資料中の表のとおり令和 11 年度目標値 76.3%に対し、令和 3 年度末 73%、対前年度比 0.8%の上昇を予定しております。計画どおり進捗をしております。

事業費につきましては、5 億 1,022 万円となっております。



以上でございます。

事務局

続きまして、(3) 持続的な経営基盤の確保に係る予算についてご説明いたします。主な事業を4つ掲げております。

一つ目①は、ホームページのリニューアルです。現在のホームページは、前回のリニューアルから10年以上が経過しているため、スマートフォン版への切替えや文字サイズ拡大・縮小等のバリアフリー化が未対応となっているほか、即時更新等に課題があることから、市民に新しい情報を正確により早く発信できるよう、広報の充実を図るものです。

二つ目②は、掘削型の水道メーターの交換について、地面を掘削しなくても済む不掘削構造のメーター筐へ更新することで、次回の水道メーター交換時の工事及び停水時間の縮減を図り、市民負担の軽減を推進してまいります。

三つ目③は、上下水道料金のキャッシュレス決済について、市長部局と連携しながら仕組みを構築し、令和4年度からの運用を目指すものです。

このことにより、自宅や外出先からスマートフォンを通じて上下水道料金を支払うことが可能となるなど、支払い手段の選択肢が広がり、市民の利便性向上につながるものです。

四つ目④は、上下水道事業の健全経営の持続に向けた調査・検討を推進するため、調査費用等を計上するものです。

説明は以上であります。

会長

ありがとうございました。

ここまでのところで質問などありましたらお願いいたします。

委員

不掘削のメーターへの交換が300箇所と書いてありますが、各戸あたり1つでしょうか。それとも現在4万戸くらいあると思いますが、将来全て切り替える計画で、手始めとして今年300戸でしょうか。

事務局

将来的に、継続してすべてのメーターを更新することを目標としており、毎年300戸ずつ行っています。

会長

現在の実施状況は何%程度ですか。

事務局

90%程度で進んでいます。

委員

2点質問があります。一つ目は帯広川下水終末処理場の自家発電の設備とは、ソー

ラーか水力どちらの発電の話なののでしょうか。それと、持続的な経営基盤確保というところで、ホームページのリニューアル等のことが書いてありますが、ここは今世の中が全てスマホの対応になっている状況なので、いち早く対応していただきたい。その中に外国語の翻訳を付けるということですが、それと共に市内にも何ヶ国語かの表記のものが必要だと思います。市内にいろんな外国の方がいらっしやって、最低でも英語、中国語の表記がないと、来てどうしたらよいのかと、うろうろされる方もいらっしやるし、そういう部分はどこの街でもやっているの、やさしい街づくりのためにお願いしたいと思います。以上です。

事務局

終末処理場の自家発電設備の更新につきましては、災害時などの停電の際に、施設が止まらないように燃料を使いまして発電をするという意味です。通常時のソーラーとか水力とは別の施設でございます。

委員

ホームページの関係ですが、どのようなホームページにしていけばいいのか、工夫や市民に伝わりやすいようにどのように情報を提供していくか、即時性、正確性、それから先ほどありました、なるべく多くの方に伝わるような仕組み、外国語表記も含めまして、広報委員会といった組織もありますので、その中でいただいたお話も含めて、より良いホームページ作りに努めていきたいと思っております。

会長

よろしいでしょうか。

今のホームページの関連でいくと、うちの大学でも留学生、中国人の方などちょっと英語が得意ではないところがあって、こういったホームページのリニューアルをするときに、日本語、英語、プラス中国語があるとすごくいいかなと思います。あと関連して、知り合いの中国人の留学生が今年水道を凍結してしまったと、どうしたらいいかと私のところに来たことがあって、そういう時の対応などもホームページに載っていると助かるかなという気がいたします。

委員

(3) のホームページのリニューアルとキャッシュレスを導入するという事で、キャッシュレスは世の中の流れであり、どんどん進めていかなければいけないと思います。現状の最先端である、スマホを用いたキャッシュレスの前段として、口座振替が一般的に導入されており、キャッシュレスの一つとして活用されていますが、課題といたしまして、私共の窓口業務も見直させていただいておりますが、現金でお支払いの方が一定の割合いらっしやいまして、なかなか減りません。今、水道をご利用されている世帯主の方で、銀行口座、もしくは郵便局等の口座をお持ちでない方はたぶんいらっしやらないと思いますので、いろいろな感染予防ですとかがしばらく続くことを考えますと、まずはキャッシュレスを進めていかなければならないというのが

共通の認識になると思います。現状の口座振替についても、ホームページなり、窓口に来ていただく際など、私ども金融機関としましても努力していきたいと思いますが、一丸となって口座振替推進というところを、予算の範囲内で結構ですのでどこかに盛り込んでいただければと思います。

それから、令和3年度の予算編成の中で昨年からも議論されております、今年の1月からの水道料金の引き下げについてですが、これはとてもいいことだったと思いますが、その議論の中で、大口の自分で水道を引いている十数社の方々を、市の水道のほうに呼び戻せないかという議論があったと思います。料金引き下げをしてから2か月が経過しようとしておりますが、市の水道に切り替えた使用者は、そんなに簡単にはいかないだろうとは思いますが、現状のその十数社に対するアプローチの中間報告がもしございましたら、今後の方針も含めて、水道料金の増収というところにつながると思いますので、しっかりと対応をお願いできればと思います。以上2点となります。

事務局

はい、ご意見いただきました、口座振替の推進につきましては、私共もなるべく、口座振替への切り替えをしていただくPRをしており、今回お配りしている水道料金改定の青いチラシにも、口座振替を促進するようなコメントを入れるだとか、もちろんホームページにも口座振替に切り替えていただくような努力はしておりますが、今いただいたご意見も含めまして、より努力をしていきたいと思っております。

それから2点目の超大口使用者の方々に対するアプローチですが、まずバックアップ事業者の方につきましては、すでに何らかの形で直接お会いするですとか、遠方の方につきましては今回の料金改定やバックアップ料金の制度を廃止した旨を通知させていただいております。なかなかすぐに地下水から切り替えるという話になっておりませんが、お話を聞く中では前向きな検討をさせていただいている方もいらっしゃいます。今後、機械の更新や地下水の設備の切り替えの時に考えると、今後使用水量や管理も含め、こういった形であれば一番水道料金が安くできるのか検討していただけるという話も聞いております。また、地下水を使用していない大口使用者の方もいらっしゃいますので、その方につきましてはこちらから出向いて、あるいは通知によって水の利用を促すような取り組みを進めようとしていただいております。また審議会の際に進捗のご報告をさせていただきたいと思っております。冒頭でもご説明いたしました、大口使用者の方に、私どもの経営につながるような事については、今後とも尽力していきたいと思っております。

以上です。

会長

2点目については引き続き営業活動を行っていただき、機会があればこの審議会でも報告していただこうと思っております。

それでは続きまして、議題（３）「下水道汚水処理施設の統合について」、事務局より、説明をお願いいたします。

事務局

それでは、下水道汚水処理施設の統合について、資料４に基づき、ご説明させていただきます。

１．事業の目的からでございます。帯広市の下水道は、北海道が運営する十勝川流域下水道浄化センターと、市が運営しております帯広川下水終末処理場でそれぞれ汚水を処理しております。各施設におきましては、今後の人口減少に伴いまして、汚水の処理水量の減少が見込まれますので、既存施設の処理能力を最大限活用いたしまして、効率的な事業運営が求められております。また帯広川処理場は供用開始から 50 年以上が経過しており、今後は老朽化する施設の更新費用の増大が想定されるため、道の施設に統合することにより、施設の最適化や更新費用の低減を図るものでございます。

２．これまでの経過でございますが、平成 26 年に施設の統合に関する市の考え方を整理いたしまして、その後、十勝川浄化センターで汚水を処理している、帯広市、音更町、幕別町、芽室町で構成する十勝川流域下水道協議会を経たのち、令和 2 年に同センターを管理する北海道と協議を終えまして、同年 10 月に統合についての基本設計により概算事業費の積算をいたしております。

３．現有施設能力につきましては、表で示しておりますように、十勝川浄化センターが 104,300 m<sup>3</sup>/日の処理能力を有しておりますが、令和元年度の処理実績は 69,502 m<sup>3</sup>/日でありますことから、34,798 m<sup>3</sup>/日の余裕が生じております。帯広川処理場の令和元年度の処理量は 22,377 m<sup>3</sup>/日ですので、十勝川浄化センターの 34,798 m<sup>3</sup>/日の余裕よりも少ないので、汚水の全ての量を十勝川浄化センターへ送っても処理が可能となるものでございます。

４．事業の内容につきましては、資料右上の図と合わせてご覧ください。帯広川処理区のうち、青色で示す分流式区域の汚水を十勝川浄化センターへ送るため、帯広川処理場内に中継ポンプ新設するとともに図の赤い実線で示す圧送管を新設し、施設の污水管幹線に接続するものです。また、緑色で示す合流式区域の汚水につきましては、青矢印で示しております、合流接続点を新設いたしまして、北海道の既設污水管である札内幹線に接続しまして、十勝川浄化センターへ送るものです。なお、合流式区域の雨天時の増水分につきましては、現行と同様に帯広川処理場で簡易処理いたします。

５．事業の効果につきましては、統合しない場合には上下水道ビジョンの期間である令和 2 年度から令和 11 年度の施設更新費用は約 68 億円になります。統合する場合には圧送管新設などの事業費用が約 36 億円必要になりますが、約 68 億円必要だった更新費用が約 8 億円におさえられますので、合計では約 24 億円の縮減効果が見込まれ

ます。

6. 今後の予定につきましては、表で示しておりますとおり、令和3年度から圧送管の設計などを進めるとともに、令和7年度までに汚水処理施設の統合に必要な関連工事を実施し、十勝川浄化センターでの汚水の一括処理は令和8年度からと予定しております。なお、汚水処理施設の統合における投資計画につきましては、ビジョンにも記載しております。説明は以上でございます。

委員                    これを見て、費用の縮減効果があるのはわかりましたが、それ以外にも統合によるメリット、あるいはデメリットはあるのでしょうか。

事務局                統合につきましては、職員の技術的な継承問題などがありまして、この統合を行うことでそういった部分も改善していけると考えております。その他にも、1か所の大きな施設に統合するというので、将来の更新などのスケールメリットとなっております。

会長                    デメリットは特になのでしょうか。

事務局                今のところ明確なデメリットはないと考えております。

委員                    将来的に帯広川処理場は無くして十勝川浄化センター1本にするという計画でしょうか。

また、分流を新設するところは、かなりの圧力をかけると思いますが、停電の時などは大丈夫でしょうか。

3点目に、既設札内幹線については圧送ではないのでしょうか。常時流れていくのでしょうか。

事務局                帯広川処理場の将来につきましては、合流区域については今後も雨天時の雨水処理につきましては継続して行っていきます。

2点目の停電につきましては、先ほど予算の中でも説明しましたがけれども、自家発電設備を備えておりますので、圧送に関してはその自家発電設備によってポンプを動かすということでございます。

3点目の札内幹線につきましては、自然流下によって流れております。

会長                    それでは続きまして、議題(4)「おびひろ上下水道ビジョン2020-2029の一部改訂について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

議題（４）「おびひろ上下水道ビジョン 2020-2029 の一部改訂について」、ご説明させていただきます。ビジョン、広報おびひろのコピー、それから青い三つ折りのチラシをご用意いただければと思います。

まず初めに、料金改定のご説明をさせていただきたいと思います。昨年８月に収支見通しや水需要の減少を踏まえた上下水道料金体系のあり方について当審議会の諮問を経て、計３回の審議会を開催し、小口使用者や大口使用者の適正な料金体系のあり方のほか、超大口使用者、それから地下水利用専用水道事業者の水道利用促進などについて、多くの貴重なご意見をいただきました。その後、９月に受理いたしました答申書において、水道料金体系の見直しを行い、改定時期については新型コロナウイルス感染症といった影響から、負担軽減につなげるためにできるだけ早期に実施することが望ましいなどの結論をいただきまして、そのいただいた答申書に基づき、上下水道部において、料金体系の検証を行いまして、従量料金単価の引き下げなど、新たな水道料金体系の考え方のほか、上下水道料金収入の見込み、あるいは収支見通しなどをまとめまして、１０月の所管委員会に報告しております。審議の結果承認を得ることができ、１２月市議会に水道料金の改定案をご提案いたしまして、審議のうえ議決されまして、本年の１月の検針分から改定された水道料金体系を適用しているところでございます。昨年度上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針としておびひろ上下水道ビジョン 2020-2029 を策定いたしましたが、ただ今の経過を踏まえまして、水道料金表を改訂いたしましたほか、上下水道料金収入見込や、収支見通しなどを修正いたしましたことから、ビジョンの関係部分を改定するものでございます。改定部分につきましてはビジョンの 17 ページ、18 ページに水道料金表の記載がございますがこれが新しい料金体系に変わっているほか、56 ページに掲載されている水道事業の有収水量や水道料金収入額なども新しいものに変更してあります。その他 59 ページ、60 ページに収支見通しが掲載されておりますが、こちらも水道料金が令和 2 年度以降変わりますことから、それに伴い純利益や累積資金残高も変更になり、61 ページのグラフも変更になっております。これらの水道料金の改定内容につきましては広報おびひろの 1 月号に掲載いたしました。また、1 月から検針に際して検針票と一緒に水道料金改定のお知らせのチラシ（青い三つ折りのチラシ）を各ご家庭に配布しております。2 月に 1 度の検針のため、2 月末には全ご家庭に配布される見込みとなっております。これらのほかにもホームページなどで市民周知に努めております。説明は以上になります。

会長

料金改定を受けて上下水道ビジョンの関連する部分を改訂したとのことでしたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員一同

ありません。

会長 議題に関しましては以上になりますが、全体を通してなにかありますでしょうか。

委員一同 ありません。

会長 それでは、議題5「その他」といたしまして、事務局のほうから何かございましたらよろしく願いいたします。

事務局 次回の帯広市公営企業経営審議会は令和3年9月ごろに開催を予定しております。開催日時が決まりましたら、改めてご案内させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

会長 ありがとうございます。それでは、本日の審議会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。